

第47回 小樽冬季バドミントン大会 (高校の部)



とき

2023 **1.28**(土)

ところ

小樽桜陽高校体育館

主催 小樽地区バドミントン協会

小樽地区バドミントン協会HP <https://otarubad.jp/>

開 催 要 項

1. 主 催 小樽地区バドミントン協会
2. 日 時 令和5年1月28日(土)
3. 会 場 小樽桜陽高等学校 9時30分～(開場8時30分)
4. 参加資格 今年度本協会登録者及び登録見込みの者
(未登録者は大会当日に小樽地区登録料800円を添えて登録して下さい。)
5. 種 目 高校(1, 2年)とも各男女別ダブルス。
6. 競技規則 令和4年度(公財)日本バドミントン協会競技規則による。
ただし、得点制限をすることがある。
7. 参加制限 **特に制限はしない。**
8. 表 彰 高校優勝者には鈴木杯を授与する。全種目3位まで表彰する。
・鈴木杯は男子小樽潮陵(佐藤・澤田組)女子小樽潮陵(森・庄司組)です
ので、優勝杯をお持ち下さい。【令和元年度の結果です。】
9. 参加料 高校の部は1人900円を大会当日に徴収します。
10. 申し込み 配布済みの申し込みUSBの大会名を冬季大会として、必要事項を入力し
て下記へメールで申し込んで下さい。
〆切 1月18日(水) 13時まで(高校の部)
必ず申込期日・時間を厳守して下さい。
※ペアのいない選手については、別紙に記入して申し込んで下さい。

yuta@hokkaido-c.ed.jp 北海道小樽未来創造高等学校 伊藤 優太 宛て

11. その他
 - ・競技中の服装は、競技の品位を保つために(財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。また、背中に学校名のゼッケン(縦20cm×横30cm)を付けるか、学校名がプリントされたウェアを着用すること。(既存のゼッケンが従来の大きさ(縦15cm×横30cm)のものであれば利用可)
 - ・運営会議は1月19日(木) 16時～小樽未来創造高校にて行います。
 - ※遠隔地の学校については、試合開始時刻を配慮します。遅れる場合は事前に連絡下さい。
 - ※新型コロナウイルスの感染状況によっては中止する場合があります。
- 問い合わせ先 小樽未来創造高校 佐藤 清彦 (0134-23-6105)

1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会および北海道バドミントン協会が作成した新型コロナウイルス感染症防止対策策「競技・運営上の注意」に準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

2. 会場への入場制限および無観客試合の実施について

①本大会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から**入場者の制限をするとともに、無観客試合での大会実施とする**。会場内への出入りについては、原則当日試合に出場する選手、引率者（監督・顧問等）、役員（審判含む）および補助生徒のみとする。（以下、大会関係者とする）

※**保護者等の入場はできません。**

②上記（1）の該当者は、次の書類を必ず提出すること。

【提出書類A】健康状態確認シート一覧（男女別・学校およびチーム用）

●主催者等で一定期間保管し、期間経過後はシュレッダー処理します。

なお、体調がよくない場合（発熱・咳・倦怠感などの症状がある）は、自主的に参加を見合わせることを。

③発熱者（37.5度以上）の入場を禁止する。

④大会関係者は期間中、必ずマスクを着用すること。（試合時および練習時は除く）

⑤試合当日、予定していた試合が全て終了した選手は、順次退館するようお願いいたします。その際は、引率者（監督・顧問等）とよく相談の上、保護者の協力も含めて帰宅に努める。

⑤「北海道スタイル」安心宣言を掲示し啓発を行う。

3. 会場内で使用する物品について

①感染拡大予防として使用する、消毒薬、遮蔽用具、非接触型体温計等を事前に準備する。（消毒薬の残量チェックを定期的に行う。）

②出入口付近や通路にアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会関係者同士が密な状態にならないように、あらかじめ定員を設定し間隔を空けるなど配慮する。

4. 大会会場内に関する確認事項

①換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。

②密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの掲示はしない。

③外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。

④更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。

⑤食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。

⑥**待機場所および観戦については、指定された場所や席または距離を開けて行い、席の移動は禁止する。（自チーム選手が試合をしているコート付近観覧席への移動も禁止する。）**応援は声を出さずに拍手をもって行って下さい（手拍子禁止）。鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援も禁止します。

5. 大会本部

①大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。

②関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。但し、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。

③共用スペース（トイレ・更衣室・食事場所等）および共有物品については、定期的に消毒を行う。

6. 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類について

バドミントンの大会は体育館内で行われるため、換気については特に配慮が求められ、また、競技で使用する用具には不特定多数の方が直接手を触れる物が多いため、大会期間の前後を含む継続した対応を行う。

- ①遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ②窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
- ③コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。
- ④コーチングシートは1席のみ用意します。（春季大会の団体時も同様とする。り）
使用した椅子は、チェンジエング毎に持ち歩くこと。
- ⑤インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しない。
- ⑥コートのモップ掛けは、毎試合終了後に行う。
- ⑦毎試合終了後の審判用具（筆記用具・ボード・カゴ）を消毒する。
- ⑧毎試合終了後の審判台・線審席・コーチ席・得点係席を消毒する。

7. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ①線審、得点係等は、マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ②得点係は、手袋（ビニール）を使用する。（線審が得点係を兼ねる場合がある）
- ③選手同士や審判員との握手は行わない。
- ④トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- ⑤コールは、必要最小限とする。
⇒「プレー」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- ⑥シャトルの交換は、主審に確認の上、選手がシャトルを直接かご(水色)から取り出し、使用済みシャトルは選手が回収かご(白色)に入れる。※定期的に競技役員が確認する。
- ⑦プレーヤー同士や監督・コーチとのハイタッチ等の接触を行わない。また、ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- ⑧汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑨シューズの裏を手で拭かない。
- ⑩意識的に試合中の声出しは、極力控える。
- ⑪コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。

- ⑫ウェアの背面文字列表示については、明瞭な文字を使用し、文字の色は上衣面の文字列表示部分の色と明確に区別できるウェアを着用すること。（ウェアの更衣をお願いする場合あり）
- ⑬敗者審判とします。ご協力お願いします。

8. 開閉会式・監督会議・公式練習について

- ①開会式及び閉会式は実施せず、表彰のみ随時行う。
- ②公式練習は通常どおり行う。

9. その他

- ①会話をする場合は、マスクの着用を励行する。
 - ②適宜手洗いやうがい等により予防に努める。
 - ③ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分する。
- ◎今大会は新型コロナウイルス感染予防の観点から、昨年度同様な大会運営になると思います。
感染者を出すことなく無事に大会を終えたいと考えています。
皆様の多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

タイムテーブル

1月28日(土) 【小樽桜陽高校体育館】

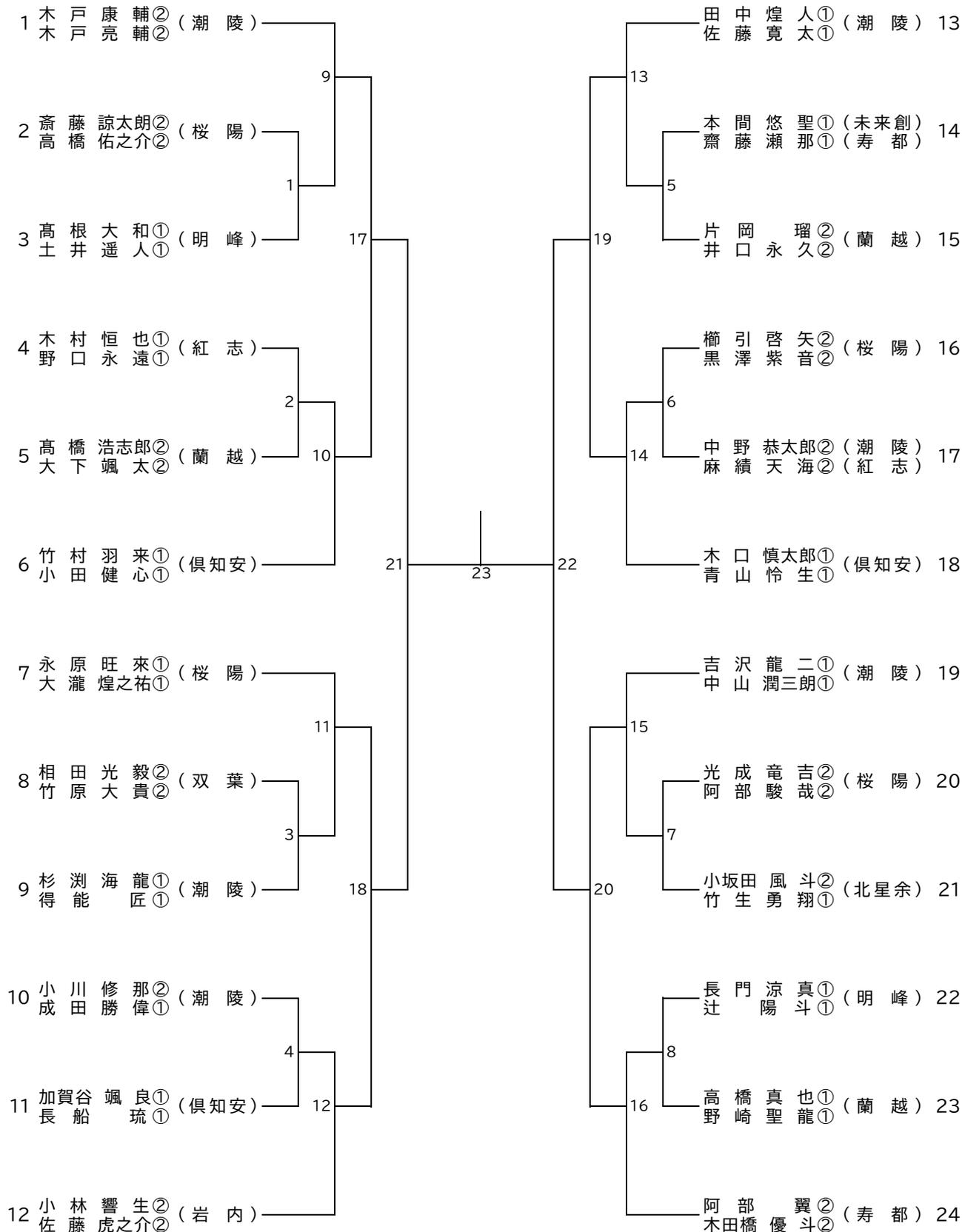
	1コート	2コート	3コート	4コート	5コート	6コート
9:30	GD1 BD1~5					
10:00	BD6~8 GD2~4					
10:30	GD5~9 BD9					
11:00	BD10~15					
11:30	BD16 GD10~13					
12:00	BD17~20 GD14~15					
12:30	BD21~22 GD16					
13:00	BD23					
13:30						

※試合の進行により時間を早めたり、コートを変更することもあります。放送にて連絡します。

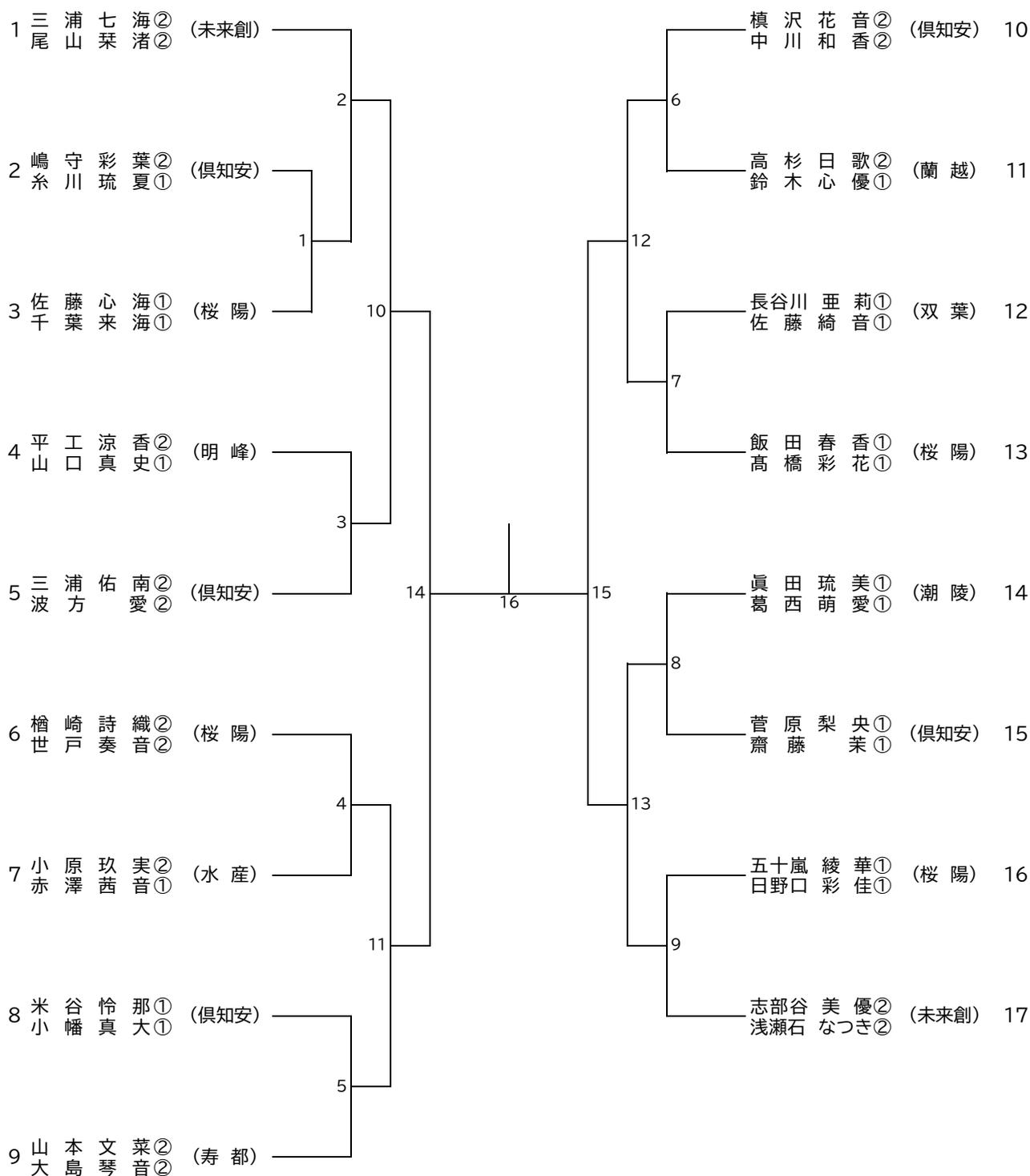
出場校及び選手数一覧

No.	学 校 名	BD	GD	参加人数
101	小樽潮陵高等学校	5.5	1	13
102	小樽桜陽高等学校	4	4	16
103	小樽未来創造高等学校	0.5	2	5
104	小樽水産高等学校		1	2
106	小樽明峰高等学校	2	1	6
107	小樽双葉高等学校	1	1	4
109	寿都高等学校	1.5	1	5
110	蘭越高等学校	3	1	8
111	倶知安高等学校	3	5	16
112	岩内高等学校	1		2
113	余市紅志高等学校	1.5		3
117	北星学園余市高等学校	1		2
	合 計	24	17	82

男子ダブルス(BD)



女子ダブルス(GD)



選手名簿<男子ダブルス>(BD)

	選手名	(学校名)校内順位		選手名	(学校名)校内順位
1	木戸康輔② 木戸亮輔②	(潮陵) D1	13	高根大和① 土井遥人①	(明峰) D2
2	田中煌人① 佐藤寛太①	(潮陵) D2	14	相田光毅② 竹原大貴②	(双葉) D1
3	吉沢龍二① 中山潤三朗①	(潮陵) D3	15	阿部翼② 木田橋優斗②	(寿都) D1
4	杉渕海龍① 得能匠①	(潮陵) D4	16	高橋浩志郎② 大下颯太②	(蘭越) D1
5	小川修那② 成田勝偉①	(潮陵) D5	17	片岡瑠② 井口永久②	(蘭越) D2
6	中野恭太郎② 麻績天海②	(潮陵) (紅志) D6	18	高橋真也① 野崎聖龍①	(蘭越) D3
7	永原旺来① 大瀧煌之祐①	(桜陽) D1	19	木口慎太郎① 青山怜生①	(俱知安) D1
8	櫛引啓矢② 黒澤紫音②	(桜陽) D2	20	竹村羽来① 小田健心①	(俱知安) D2
9	光成竜吉② 阿部駿哉②	(桜陽) D3	21	加賀谷颯良① 長船琉①	(俱知安) D3
10	斎藤諒太郎② 高橋佑之介②	(桜陽) D4	22	小林響生② 佐藤虎之介②	(岩内) D1
11	本間悠聖① 齋藤瀬那①	(未来創) (寿都) D1	23	木村恒也① 野口永遠①	(紅志) D1
12	長門涼真① 辻陽斗①	(明峰) D1	24	小坂田風斗② 竹生勇翔①	(北星余) D1

選手名簿<女子ダブルス>(GD)

	選手名	(学校名)校内順位		選手名	(学校名)校内順位
1	眞田琉美① 葛西萌愛①	(潮陵) D1	10	長谷川亜莉① 佐藤綺音①	(双葉) D1
2	檜崎詩織② 世戸奏音②	(桜陽) D1	11	山本文菜② 大島琴音②	(寿都) D1
3	飯田春香① 高橋彩花①	(桜陽) D2	12	高杉日歌② 鈴木心優①	(蘭越) D1
4	五十嵐綾華① 日野口彩佳①	(桜陽) D3	13	槇沢花音② 中川和香②	(俱知安) D1
5	佐藤心海① 千葉来海①	(桜陽) D4	14	三浦佑南② 波方愛②	(俱知安) D2
6	三浦七海② 尾山菜渚②	(未来創) D1	15	菅原梨央① 齋藤茉①	(俱知安) D3
7	志部谷美優② 浅瀬石なつき②	(未来創) D2	16	米谷怜那① 小幡真大①	(俱知安) D4
8	小原玖実② 赤澤茜音①	(水産) D1	17	嶋守彩葉② 糸川琉夏①	(俱知安) D5
9	平工涼香② 山口真史①	(明峰) D1			

種目: 女子ダブルス
 試合番号: GD1
 コート番号: _____
 予定時間: 時 分

ホカイ ミヅ 北海道子 北海道高校	21	—	11	0	ハコ 小樽花子 小樽高校
ホカイ ミヅ 北海道代 北海道高校	26	—	24	0	ミナト 小樽港 小樽高校

期日: 9月15日
 開始時刻: 時 分
 終了時刻: 時 分
 試合時間: _____
 主審: _____
 サービスジャッジ: _____

『オンマイライト〇〇さん、△△さん(所属名)、オンマイレフト××さん、◎◎さん(所属名)、サーバーの名前 トウサーブトウ レシーバーの名前 ラヴオールプレイ』

北海道子		1	2	3	4	5	6		8		11			14	15	16			18	19				
北海道代	R	0							7		10			12	13				17		20	21		21
小樽花子	S	0							2		4			7	8				10					
小樽港									1		3			5	6				9		11			11

第1ゲーム終了時刻 時 分

最初のサーバーにS
最初のレシーバーにRを
その横の両方に「0」を記入

インプレイでなくなった瞬間ストップWで60秒を計時
「イレブンフォーインターバル」とコールする
残り20秒になったら「〇〇コート 20秒」と
2回コールする

「20 ゲームポイント 〇〇」と
コールする

インプレイでなくなった瞬間ストップWで2分を計時
「ゲーム」とコールし、その後アナウンス
残り20秒になったら「〇〇コート 20秒」と
2回コールする

最後の得点は
間にスラッシュ「/」を
入れて丸で囲む

『ゲーム ファーストゲームワンバイ 〇〇さん△△さん(所属名)(勝ちチーム) □ー×(点数)』 2分後 『セカンドゲーム ラヴオールプレイ』

北海道子									3					7	8	9	10	11						13			16				19				
北海道代	S	0	1	2							4	5	6											12			14	15			17	18		20	
小樽花子	R	0									4	5												8	9			12	13			15		18	19
小樽港				1	2	3								6	7									10	11			14				16	17		20

第2ゲーム終了時刻 時 分

21

21 22

23

24

25 26

26

24

24

主審は「20 オール」とコールし、ゲームを続ける
「20ゲームポイントオール」とは言わない

『ゲーム セカンドゲームワンバイ 〇〇さん△△さん(所属名)(勝ちチーム) □ー×(点数)』 2分後 『ファイナルゲーム ラヴオールプレイ』(第2ゲームで試合が終わった場合は「マッチワンバイ…」のコール)

北海道子																																			
北海道代																																			
小樽花子																																			
小樽港																																			

第3ゲーム終了時刻 時 分

20点オールになったら
次の欄に斜線を入れる

「25 マッチポイント 〇〇」とは
コールせず「25 24」のみ

必ず勝者2人に
サインをもらう

主審も忘れずに
サインすること

『ゲーム マッチワンバイ 〇〇さん△△さん(所属名)(勝ちチーム) □ー×(点数) △ー◎(点数) ○ー◇(点数)』